

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成 15年 6月 9日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	31110
政策名 (章)	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします	評価担当課	経済部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 活力ある産業の振興		産業振興課
施策名	総合的な産業振興施策の推進	課長名	三沢 賢一

1 施策の概要・目的

社会経済情勢の変化に的確に対応し、活力ある産業活動が展開されるよう、関係機関、団体との連携を図るとともに、企業間、産業間、産学間等の連携強化を進めるなど、「さがみはら産業振興ビジョン」を具現化するために総合的な産業振興施策を推進する。

2 施策の現状

中小企業の経営革新への支援、広域情報ネットワークを活用した産業の振興、あるいは産業活動のグローバル化に対応した事業の展開など、産業の活性化を図るための事業展開を市内経済団体の商工会議所や産業振興財団等と連携をとりながら実施している。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

240,226 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

390 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **65** 番目です。

(4) 施策に要している人員

4.12 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	産業振興ビジョンの事業着手率	産業振興を図る方策を指し示したビジョンの事業着手率を測る	79 事業 単位	0 50 100	86%	H22
			92 事業 単位			達成度
指標2			単位	0 50 100		目標年度
			単位			達成度
指標3			単位	0 50 100		目標年度
			単位			達成度
					%	

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

景気の低迷が続く今日において、市内最大の経済団体であり中小企業者への支援や相談を実施している商工会議所に支援を行うこと、及び情報化・国際化が進展する中、市内産業に関する情報発信を中心に取組んでいる産業振興財団への支援を行うなど、市内産業活性化へ向けた方策を実施している。また、国際化に対応して平成14年度に実施した市内産業動向調査は、中小企業の国際活動支援事業の貴重な基礎資料となった。

6 有効性…期待される効果があがっているか

平成13年度に開催されたロボフェスタでは科学技術に親しむ環境が醸成され、その後も、明日の産業を担う青少年に対する啓発事業が実施されている。また、不況下にも関わらず商工会議所の会員数は昨年(平成14年度)に比べわずかながらも増大しており、また、産業振興財団のホームページへのアクセス件数も数年来30%の伸びを示すなど、市内経済関係団体の継続的な取り組みにより産業振興が図られている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

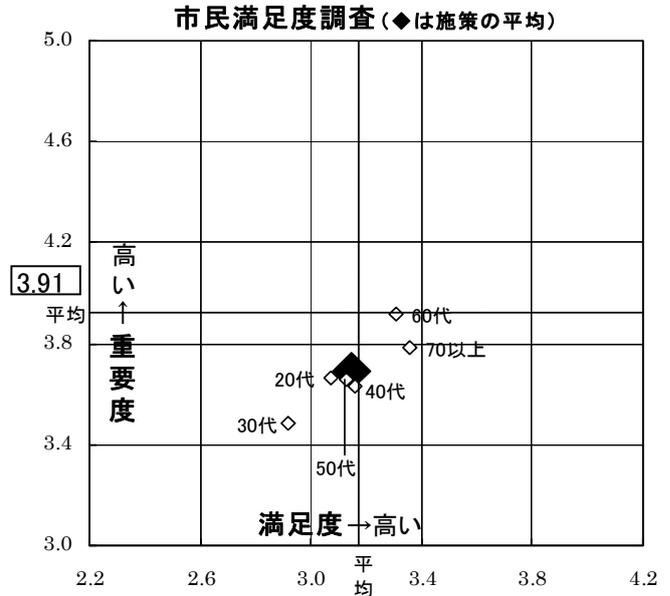
商工会議所に関しては補助金算定基準の見直しを行い、予算の効率的な執行が図られることとなった。産業振興財団については、役割分担の見直し及び事務所の移転等もあり一部改善すべき点も生じた。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.149で、調査した51施策の中で26番目です。
- ◆この施策の重要度は、3.689で、調査した51施策の中で39番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.382で、調査した51施策の中で34番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度ともに60歳代以上で高く、30歳代で最も低くなっています。満足度が高いほど重要度も高くなる傾向がみられます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「○総合計画における位置付け等」参照)

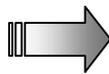


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

本市の産業の方向性を指し示す産業振興ビジョンは平成8年に策定され、目標年次の平成22年までの折り返し点となっており、近年の経済状況に即した補足事項の追加等の検討を行う必要がある。また、経済関係団体の役割分担の見直しを行ったものの、事業内容の重複するものや、一層の連携を必要とするものもあり、今後、有効性・効率性の観点から再度総合的な調整を行う必要がある。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

産業振興ビジョンについては、平成15年度が折り返し点となることから、補足事項の検討等を含め見直しを行っていくこととする。経済関係団体との連携のあり方については、市内産業を取り巻く環境の変化を見据えながら、適宜見直しを加えていくこととする。なかでも、産業振興財団については、市内経済団体の役割分担の見直しを行うことで平成14年度から再出発を図ったものであるが、その後の経過も踏まえながら方向性を含め再検討を行う事とする。

11 2次評価

	説明
<input type="checkbox"/> A	「さがみはら産業振興ビジョン」に基づく総合的な産業振興施策を進めるため、行政、産業振興財団、産業創造センター及び商工会議所等の役割分担を整理し、産業振興の推進体制及び事業体系の再構築を行うこと。
<input type="checkbox"/> B	
<input checked="" type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明
産業振興ビジョンについては、社会経済・環境の変化への対応を図るなど、必要な見直し等を行いながら実施するべきである。

